

2023年8月1日

書店員が選ぶ 絵本新人賞

株式会社読売新聞東京本社

株式会社中央公論新社

第1回「書店員が選ぶ絵本新人賞」

応募総数 561 作品から絵本の目利き書店員が選んだ大賞受賞作が決定

75歳の新人絵本作家誕生へ！

株式会社読売新聞東京本社（本社・東京都千代田区、代表取締役社長・村岡彰敏）と株式会社中央公論新社（本社・東京都千代田区、代表取締役社長・安部順一）が主催する第1回「書店員が選ぶ絵本新人賞」の大賞および特別賞受賞作が決定いたしました。

◆ 大 賞

『はるさんのユートピア』ただ のぶこ（75歳、兵庫県在住）

◆ 特別賞（2作品）

『ゆき』おな のりえ（東京都在住）

『うちゅういちの たかいたかい』ホッシーナッキー（42歳）・にいた（8歳）（兵庫県在住）

（※敬称略）

「書店員が選ぶ絵本新人賞」は「求む『文字好きを育てる絵本』！」をコンセプトに、2022年11月に創設されました。一般の書店に流通する商業出版をした経験のない人の未発表作品を対象に、全国の書店員が選考して新たな絵本作家を発掘する、これまでにない絵本賞です。第1回の今回は国内外から561作品の応募があり、選考には全国の書店員408名の皆さんにご協力いただきました。大賞受賞作は2023年11月に刊行予定です。贈賞式は11月15日に東京會館（東京都千代田区）で行います。

【大賞・特別賞受賞作品のご紹介】

大賞

作品名：はるさんのユートピア

あらすじ：はるさんは、村で一番若いおばあさん。山あいの谷の小さな村にはもう、十人のおばあさんしか住んでいません。「わたしたちに何ができる？」おばあさんたちは話し合って、みんなで千本の桜を植えることにします。

それから百年。村と町を隔っていた山にトンネルが開通しまし



た。新しい街をつくる場所を探しに「桜の谷」へやってきた建築技師は、ある廃屋で、壁一面に貼られた大きな絵を見つけ、心を動かされます。それは、はるさんが遺した「理想の街の地図」でした…。限りある命と、繋がれる想い。過疎の村が時を経て生まれ変わるまでを、大きな視点で優しく描いた物語。

作者名：ただ のぶこ

プロフィール：1947年大分県生まれ。大阪教育大学卒業後、小学校教諭として勤務し、いったん退職。18年を経て、再度小学校臨時講師として復帰し、定年退職後、絵本製作に取り組む。



受賞のことは：はじめは驚き、つぎに嬉しさと涙が湧いてきました。部屋の隅に置いていた作品が、皆様に読んでもらえて、好きになっていただけたということが、信じられない思いです。すばらしい賞をありがとうございました。

投票書店員のコメント

KaBoS イオンモール新小松店（石川県小松市） 中西 若葉さん：好きです。最近読んだ本の中でも一番かもしれません。この絵本ほしいです。

TSUTAYA 南古谷店（埼玉県川越市） 石木戸 美穂子さん：これはちょっと泣けてしまう。「これから」のことを考えて何ができるのか考えさせられる。

文苑堂書店 富山豊田店（富山市） 奥井 将さん：この話から子供たちが何かを受け取れる気がします。だから読んでもらいたいと思いました。

特別賞

作品名：ゆき

あらすじ：雪が降る前の日は、いつもと少し違う。日常生活の中で、だんだんと降り積もる雪を待つ人々。少しドキドキ、少しわくわく、そんな静かな高揚を感じる作品。



作者名：おな のりえ

プロフィール：東京都在住。多摩美術大学グラフィックデザイン学科を卒業し、広告デザイン会社でデザイナーとして勤務のち、イラストレーターとして活動中。

投票書店員のコメント

紀伊國屋書店加古川店（兵庫県加古川市） 吉田 奈津子さん：絵の雰囲気もお話も私の中ではナンバーワンでした。白い雪の描き方がとてもきれいで、いつまでも眺めていたいと思いました。

明屋書店中野ブロードウェイ店（東京都中野区） 宮田 弥生さん：雪国で生まれ育ちました。雪が降る前の空気のおいや、教室のそとの空の色、雪が積もった朝のしん、とした気配……とてもリアルで懐かしく、何度も読んでしまいました。

特別賞

作品名：うちゅういちの たかいたかい

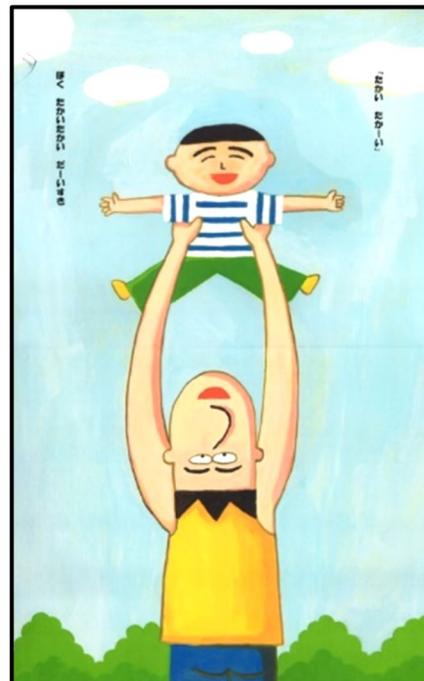
あらすじ：ぼくは「たかいたかい」が大好き。お父さんはわが子のリクエストに応じて、腕を目一杯鍛えます。どんどん“たかく”なるお父さんの腕。ビルを越え、山を越え、ついには宇宙に飛び出す「たかいたかい」に立ち塞がるのは—巨大な隕石！

作者名：ホッシーナッキー／にいた

プロフィール：

文と絵：ホッシーナッキー：1981年東京都生まれ。兵庫県在住。グラフィックデザイナーを経て、2015年より、フリーランスのイラストレーターとして活動開始。雑誌や書籍のイラストレーション、オリジナルキャラクター制作などを手がける。こどもが生まれてから、毎日毎日絵本の読み聞かせをするうちに、絵本作りを志す。

原案：にいた：ホッシーナッキーさんの長男。2015年兵庫県生まれ（小学3年生）。兵庫県在住。本が大好き。「本は、お兄ちゃんであり先生。いろいろ教えてくれるから」



投票書店員のコメント

コーチャンフォーミュンヘン大橋店（札幌市） 小林 和茂さん：こうなったらいいなと子供なら一度は考えそうな題材で想像力をかきたてる視点が見事でした。読後もクセになりそうな作品と感じました。

ブックエース TSUTAYA 下館店（茨城県筑西市） 大島 恵さん：シンプルで面白い！ 読み聞かせると盛り上がりそう！

【「書店員が選ぶ絵本新人賞」について】

子どもたちに「読む」ことの楽しさを伝え、将来にわたって読書を好きになってもらいたい。そんな願いを込めて読売新聞東京本社と中央公論新社が創設した新しい絵本の新人賞です。応募資格はたったひとつ、「一般の書店に流通する商業出版をした経験がないこと」。「読む」体験を楽しめる絵本作品を募集し、選考は、絵本を「読む・届ける」プロフェッショナルである全国の書店員の投票によって行われます。日々、店頭で読者と接している書店員の目を通して、読み手の気持ちに寄り添う「新たな才能」を発掘することが狙いです。

大賞受賞者には賞金 50 万円が贈られ、受賞作は中央公論新社より出版いたします。特別賞受賞者には賞金 10 万円が贈られます。詳細は公式 HP をご覧ください。(<https://ehon.yomiuri.co.jp/>)